News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
New Rochelle, NY 10801 U.S.A.
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成２６年　３月 21 日　No.23
発行責任者：校長　櫻井郁男

グローバル化　まとめ

ビッグアップル21号で、グローバル化と学校教育について状況をお伝えし国際社会でご活躍の皆様方からの感覚からすると、国内の教育施策は、ずいぶん遅れて制度が作られていく例をお伝えしました。

22号では、21世紀の国際社会において個としてしなやかに生き抜き、その時々の立場に応じて、身の周りの社会・祖国・国際社会に貢献できる人材にならんとするために、今、身に付けるべき力を、米国で学び生活している本校児童・生徒はどのようにして獲得していくのでしょうか。と結びました。

卒業式。校長は以下のように、巣立っていく生徒に思いを託しました。

結びのお話は、**山積する内外の課題に、深く考えつつ関わっていってほしい**ということです。残念なことに、皆さんをお祝いしているこの瞬間にも、世界ではあまりにも多くの人々が苦しんでいます。環境問題、食料問題、異文化間の激しい摩擦、これらの問題を生み出し、課題解決を妨げている「国家間の利害と格差」・・・世界は　今　混沌とした様相を呈しています。

また、日本国内では東日本大震災・津波・原子力発電所の事故からの復興と、真の再発展が必要です。同じように、私たちが日々生活しているアメリカ合衆国にも克服すべき課題があることでしょう。



LI校・・・日本より日本らしく

変化と激動が続く困難な時代に、一人の人間として主体的に関わっていくための秘訣は、ひとことでは説明できるものではありません。

そこで**ふたつの以上の言語を操り、多様な文化に触れてきた皆さんこそ、世界の人々の中心となって困難な課題を解決していくことができる「人材である」と申し上げます。「常に課題意識を持ち、学び続け、人間愛を判断の基準として、深く考え行動してください。」**

そして、いつの日にか、**日本国憲法前文に謳われている「名誉ある国」の語と文化を理解する人間として、**あなたの　ときどきの立場に応じて、国際社会に貢献できる人となってください。高等部を卒業する皆さん、今のお話をしっかりと理解し、さらに**ニューヨーク補習授業校高等部卒業という、**素晴らしい学習歴を　生涯の心の支えとして、誇り高く生き抜いてください。・・・以下略・・・



W校　高等部卒業生
帰任した山本教頭　前列右から２番目

この、卒業式での話は21号・22号で投げかけた教育観の答えとはいえません。

そこで、これからの若者に身につけてほしい力として、
「国際バカロレア」を紹介して、3回に渡ったお話を締めくくります。
http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/1307998.htm

以下の内容は、上記サイトより抜粋、再構成をしました。

目指す10の学習者像

・探求する人　・知識のある人　・考える人　・コミュニケーションができる人　・信念のある人　・心を開く人　・思いやりのある人　・挑戦する人　・バランスのとれた人　・振り返りのできる人

3歳から12歳までの子供を対象とした学習プログラムは心身の発達を重視し、「何を学びたいか」「どうしたら一番よく学べるか」「どうしたら何を学んだかわかるのか」という、3つの質問を中心に構成されています。

上記のプログラムには、6つの学術的なテーマがあります。①私たちは何者なのか　②私たちはどのような時代、場所に生きているのか　③私たちはどうやって自分を表現するか　④世界はどう動いているか（世界の仕組み）　⑤私たちは自分たちをどう組織しているか（社会の構造）　⑥地球の共有

日本国内では、国際バカロレアに対応する教育活動は始まったばかりですが、世界各地で日々汗を流し、お子さんの健やかな成長を願っている皆様には十分にご承知のことでしょう。そして、上記の学習者像や学びのスキル、学びのテーマについて、「なるほど」とお感じになることでしょう。

時々の思いを綴った、「ビックアップル　最終号」をお届けいたします。
ご家庭での話題にしていただければ幸いです。

平成23年度　派遣教頭　山本秀司は任期満了により、3月19日に帰国の途につきました。山本教頭へのご協力に深く感謝申し上げます。（校長　櫻井郁男）